

# 住みやすく活力ある島根をめざして

島根県知事

溝口 善兵衛



## 魅力ある島根の資源

縁結びの神様として知られる出雲大社では、先般、六〇年に一度の大遷宮が行われました。神社建築の古式を伝えるご本殿は、五年の歳月をかけて美しく蘇えり、この間お仮殿にお移りになっておられた御神体が、ご本殿へお還りになるご遷宮の祭事をご承知のように厳かに執り行われました。

この出雲大社の「平成の大遷宮」を迎えた本年は、様々なメディアにおいてこうした島根に関する話題が頻繁に取り上げられ、多くの観光客が島根にお越しただいております。また、日本海に浮かぶ隠岐諸島は、九月初め、世界的に優れた地質遺産を有する自然公園として「世界ジオパーク」の認定を受けました。隠岐

の大自然の素晴らしさと地元の皆さんの熱意ある取り組みが世界に認められ、大変うれしく思っています。

## 地方分散で日本を豊かに

こうした豊かな自然や文化・歴史など、県内各地域の特色ある資源を活かした地域づくりの重要性を、改めて感ずるところです。島根のような地方には、個性的な古き良き文化や歴史、豊かな自然が残っており、温かい地域社会の中で比較的ゆったりと生活することが出来ます。こうした地域は、やや発展が遅れてきたのですが、現在では交通・情報インフラの整備が進み、大都市でしかないと思われていたビジネスが展開できるようになっています。しかし、戦後の経済の復興・発展の中で、人口や企業は大都市に過度に

集中し、島根のような地方では過疎化が進みました。こうした過密と過疎という相反する行き過ぎが、地方で職を得、生活していくことを難しくさせています。住みやすく豊かな地方が増えれば、過密と過疎が同時に緩和され、日本全体がバランスのとれた発展をすることになります。

そのためには大都市から地方へ人や企業、資源の「分散」を政策的にもっと進めることが大事です。分散により、地方の個性が活かされるだけでなく、国土も有効に使い、日本全体として大災害にも強く、誰もが住みやすい社会が実現するものと考えます。分散が進み、日本全体でバランスのとれた発展ができるよう、産業振興や人づくりなどを通じ、さらに島根の魅力を高めていきたいと考えています。

## 住みやすく安心できる暮らしを

少子高齢化の進展や人口減少、とりわけ近年の厳しい経済状況の中、島根県の最重要課題は、経済の活性化と県民生活の安定です。このため、産業振興と、それによる雇用創出などに重点的に取り組んでいます。

さらに、安全・安心な暮らしの確保も大事な課題となります。自然災害や事故から生命や財産を守り、医療体制を確保するなど、健康で安心できる地域社会の構築を進めてまいります。

特に、県土の八割以上を占める中山間地域では、様々な課題が深刻化しています。島根県では、公民館の範囲ごとに人口や生活条件により地区の特徴や課題を明らかにする「しまねの郷づくりカルテ」を作成しました。こうした情報を活用し、市町村と連携しながら、課題解決を進めていきます。

島根は、これからの成熟した社会の中で求められる多くの資源を有しています。そうした強みを活かしながら、誰もが住みやすく、活力のある島根を築いていくため、総力を結集して取り組んでまいります。